

ハーセプチン治療を受けられる

岡山赤十字病院 病棟 () 外科 主治医

様の入院計画表 (患者ID: _____)

受け持ち看護師

患者様署名 (代理人署名)


年 月 日



ハーセプチン治療について
 製品名：ハーセプチン 一般名：トラスツズマブ

ハーセプチンの効果が期待できるのは、乳がん細胞の表面にHER2（ハーツ）がたくさんある（HER2陽性乳がん）方です。ハーセプチンはHER2のみを狙ってくっつくように作られており、その結果、乳がん細胞をやっつけ、増殖を抑えます。このように、ハーセプチンは今までの抗がん剤とは違い、特定の乳がん細胞だけを狙って攻撃するので『分子標的薬』と呼ばれています。

☆起こりうる副作用と対策

- 点滴による薬剤反応（インフュージョン・リアクション）
 ハーセプチン点滴中または点滴後24時間以内に多く現れる症状をこう呼びます。発熱・悪寒・嘔気・嘔吐・頭痛・咳・めまい・発疹等が出ることがあります。（発熱は40%の割合で出現。他の症状の出現頻度は低い。）症状に応じ薬が処方されることがあります。ハーセプチン点滴後1日は、安静にお過ごしください。これらの症状はハーセプチンを初めて使うときに起こりやすく、2回目以降は一般的に副作用の割合や程度は軽くなります。
- 心臓への影響（50人に1～2人：2～4%の割合）
 ハーセプチンの副作用として心臓の機能低下があります。心臓のポンプ機能が低下し、全身に十分な血液を送れなくなります。その結果倦怠感・むくみ・息苦しさ等が現れることがあります。重い心臓機能低下になる前には動機・息切れ・頻脈が現れます。



日付	入院日 月 日		治療翌日 月 日
	治療前	治療中～治療後	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 治療の説明を受け、不安や疑問な点が質問できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 副作用の出現がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院できる
説明	<ul style="list-style-type: none"> 入院療養計画書をお渡しします。 ハーセプチン治療について説明をします。 内服中のお薬・アレルギーについて確認をします。 	<p>ハーセプチン治療については左記をご覧ください。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 退院療養計画書をお渡しします 計算書は11時前後にはお渡しできます。ご希望の時間帯等ありましたらお伝えください。 ご希望があれば、外来科学療法室にご案内します。 
検査		治療中は心電図モニターを装着します。	<p>点滴をいっている間に自覚症状があればお知らせください。</p>
処置薬剤	<ul style="list-style-type: none"> 点滴の針を挿入します。 	<ul style="list-style-type: none"> ハーセプチンの点滴を行います。時間は1時間30分程度です。 治療開始時、投与中、治療終了後などに脈拍・血圧等の測定をします。 	<p>体温・脈拍・血圧等の測定をします。</p> 
安静度	制限はありませんが点滴施行中は、トイレ歩行程度にしてください。		
排泄	トイレで行ってください。		
食事	普通食です。		
清潔	入浴はできません（事前に入浴前にすませておいてください。）		入浴ができます。



特別な栄養管理の必要性 有・無（どちらかに○）
 総合的な機能評価： 自立 ・ 一部介助 ・ 全介助